

105-184

問題文

悪心・嘔吐に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 急性胃炎による悪心・嘔吐は、化学受容器引き金帯(CTZ)を介して嘔吐中枢が刺激されて起こる。
2. 脳腫瘍による悪心・嘔吐は、嘔吐中枢が直接刺激されて起こる。
3. 糖尿病性ケトアシドーシスによる悪心・嘔吐は、嘔吐中枢が直接刺激されて起こる。
4. 妊娠悪阻による悪心・嘔吐は、CTZを介して嘔吐中枢が刺激されて起こる。
5. モルヒネによる悪心・嘔吐は、自律神経を介して嘔吐中枢が刺激されて起こる。

解答

2, 4

解説

選択肢 1 ですが

嘔吐は大きく中枢性と末梢性があります。急性胃炎による悪心・嘔吐は、内蔵からの反射による嘔吐なので、末梢性です。中枢性ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが

胃拡張などが原因ではないかとされています。嘔吐中枢直接刺激によるものではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

CTZ 部位での μ 受容体刺激によって起きます。「自律神経を介して」ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2,4 です。